

管理番号 9-A-6	検査項目 主索の素線切れ状況の判定基準 (ORDER SPACEL-GR / ELGRUISE)	掲載日 2015-09-04
---------------	--	-------------------

1. 適用

巻上機型式TMLG14B、TMLG20B、TMLG20Cで使用している、樹脂心入り 8×S(19)の直径8mm の主索に適用します。

2. 検査方法

各主索の素線切れの状況を表1の判定基準に従って確認ください。

3. 判定基準

- ・表1の要重点点検の状態に達した場合は、主索の交換準備をご検討ください。
- ・表1の要是正の状態に達する前にロープ全数を交換ください。
- ・本主索は大臣認定を取得した特殊鋼索となります。

表1. 主索の素線切れ状況の判定基準

劣化状態	要重点点検	要是正
素線切れが平均的に分布する場合	1 よりピッチ内の素線切れ総数が24本を超えていること又は1 構成より1ピッチ内の素線切れが3本を超えていること	1 よりピッチ内の素線切れ総数が32本を超えていること又は1 構成より1ピッチ内の素線切れが4本を超えていること
素線切れが特定の部分に集中している場合	1 よりピッチ内の素線切れ総数が12本を超えていること又は1 構成より1ピッチ内の素線切れが7本を超えていること	1 よりピッチ内の素線切れ総数が16本を超えていること又は1 構成より1ピッチ内の素線切れが9本を超えていること
錆が著しい場合又は切れた素線の劣化が進んでいる場合	1 構成より 1 ピッチ内において素線切れがあること	1 構成より 1 ピッチ内において素線切れが2本を超えていること
破断素線の断面積が、元の素線の断面積の70%以下となっている場合(注1)	1 構成より 1 ピッチ内において素線切れがあること	1 構成より 1 ピッチ内において素線切れが2本を超えていること

注1: 破断素線の断面積が70%以下かどうかは、図1の摩耗長さ及び幅を測定し、図の数値を超えている場合で判定することができます。

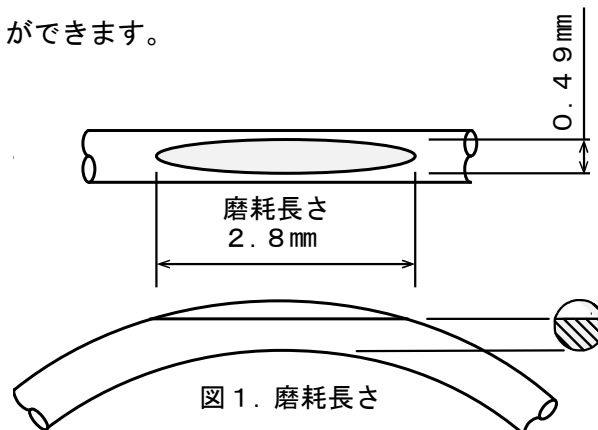


図1. 摩耗長さ

P-1/1